



2019年9月30日

各 位

会 社 名 株式会社C R I ・ミドルウェア
代表者名 代表取締役社長 押見 正雄
(コード番号:3698、東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 田中 克己
(TEL. 03-6418-7083)

有限会社ツーフাইブの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2019年9月30日開催の取締役会において、以下のとおり、有限会社ツーフাইブ（以下、「ツーフাইブ社」）の全株式を取得し、完全子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社は、主力である音声関連ミドルウェアと映像関連ミドルウェアをさまざまな分野の顧客ニーズに合ったかたちで製品化し、幅広く展開しております。主な対象分野として、スマートフォンゲームや家庭用ゲームをはじめ、カラオケ機器などのエンターテインメント分野、家電・IoT機器や医療ヘルスケア分野に展開しており、昨今は監視カメラやWeb動画といった、新たな分野へも事業領域を拡げております。また、子会社である株式会社ウェブテクノロジーにおいては、ゲーム分野を中心に画像最適化ソリューションを幅広く展開しております。

ツーフাইブ社の中心事業は音響制作であり、主にスマートフォンアプリのゲームや家庭用ゲーム機ソフトの音声制作を行っております。近年はセリフ付きゲームの需要が高まっており、ツーフাইブ社の主な業務も、声優のキャスティングから、演出・収録・加工・編集・データ化までを総合的に手掛けるサウンド制作へと拡大しております。

この度、ツーフাইブ社がグループ入りし、これまで当社が行ってきたミドルウェアビジネスとツーフাইブ社の音響制作事業が融合されることで、当社グループはサウンドソリューションを上流から下流までワンストップで提供できることとなります。ツーフাইブ社が持つサウンド制作やコンテンツ制作などに関する現場の知見やノウハウをグループ内に取り込み、当社の持っているテクノロジーを余すことなく活用することで、より高度で先進的なゲームサウンドを実現いたします。

また、ツーフাইブ社としては、当社製品やテクノロジーを活用することで、より効率的に高品質な音響制作が可能となり、当社としては、サウンド制作者を直接支援することで、現場のニーズや課題を早期に把握し、当社製品の進化やテクノロジーの高度化に寄与すると考えております。

これらの理由から、当社はツーフাইブ社の全株式を取得することといたしました。

2. 異動する子会社（有限会社ツーファイブ）の概要

(1) 名 称	有限会社ツーファイブ			
(2) 所 在 地	東京都豊島区南池袋二丁目 47 番 13 号			
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 溝口 功			
(4) 事 業 内 容	音響制作（作詞、作曲、編曲、レコーディング、音声の加工や編集等）、CD の制作販売、レコーディングスタジオの運営、イベントの企画運営等			
(5) 資 本 金	320 万円			
(6) 設 立 年 月 日	1991 年 12 月 5 日			
(7) 大株主及び持株比率	溝口 功 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2016 年 10 月期	2017 年 10 月期	2018 年 10 月期
	純 資 産	32 百万円	21 百万円	23 百万円
	総 資 産	169 百万円	152 百万円	174 百万円
	売 上 高	371 百万円	308 百万円	288 百万円
	営 業 利 益	15 百万円	△7 百万円	8 百万円
	経 常 利 益	10 百万円	△10 百万円	2 百万円
	当 期 純 利 益	7 百万円	△10 百万円	2 百万円

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	溝口 功
(2) 住 所	東京都練馬区
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権所有割合：0%)
(2) 取 得 株 式 数	64 株
(3) 取 得 価 額	株式の取得価額に関しましては相手方の意向により開示を控えさせていただきますが、適切なデューデリジェンスを実施し、双方協議の上、妥当な金額を算出しております。
(4) 異動後の所有株式数	64 株 (議決権所有割合：100%)

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	2019年9月30日
(2) 契約締結日	2019年9月30日
(3) 株式譲渡実行日	2019年10月31日(予定)

6. 今後の見通し

本株式取得による、2019年9月期の当社連結業績に与える影響につきましては軽微であります。2020年9月期の当社連結業績予想には織り込む予定です。なお、今後、開示すべき事項が生じた際には速やかに開示いたします。

以 上